

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.57

調査者	小久保 徹、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年6月15日
情報ソースの調査日	2020年6月18日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年6月26日
日本語タイトル	イタリアにおける COVID-19 パンデミック時の心臓リハビリテーション活動
情報ソース	Mureddu GF, et al. Cardiac rehabilitation activities during the COVID-19 pandemic in Italy. Position Paper of the AICPR (Italian Association of Clinical Cardiology, Prevention and Rehabilitation). Monaldi Arch Chest Dis. 2020 Jun 15; 90 (2).
情報のカテゴリー	急性期の心リハ、回復期の心リハ、生活期の心リハ(介護・福祉系を含む)、包括的心リハ、その他
発信地域	ヨーロッパ(イタリア)
DOI	10.4081/monaldi.2020.1439.
URL	https://www.monaldi-archives.org/index.php/macd/article/view/1439
要約	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19 は、心臓リハビリテーション(心リハ)の入院患者と外来患者の医療組織の双方に大きな影響を与えている。 COVID-19 パンデミックの緊急時および緊急後の段階における CR 施設への一般的な推奨事項について示されている。 イタリアにおける様々な臨床およびケアは、地域、サービス組織、および病院により異なる。 一部の病棟は、専用のベッド用のスペースを確保するため、または曝露した医療従事者を隔離するために閉鎖されている。場合により、CR ユニットは COVID-19 ユニットに変更されている。 運動療法によるトレーニング強度とモダリティは、Short Physical Performance Battery スケールを介して、機能的虚弱性の程度が分類される。その個別化によるプログラム進行が推奨されている(心肺分野の主要な科学学会のガイドラインに基づく)。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか?	<ul style="list-style-type: none"> 病院内外における心リハ実施の際の管理および運営方法の最新の指針となる可能性がある。